

学生記者が行く!

発見 きらめきの人

このページは学生記者がアイデアを出し、取材や撮影を行い編集するページです。

【発見!きらめきの人】のコーナーでは、学業・部活・サークル・イベントなど、さまざまな分野で“キラリ”と輝く仲間を紹介します。

Vol. 71

「動物愛護」と「環境保護」を広めるために団体を通して様々な活動をしている園木豪流さん(言3年)に話を伺ってきました。

園木 豪流さん (言3年)

【「動物愛護」に目覚めた原体験】

園木さんは幼い頃から動物が好きで親しみがあつたそうです。彼は高校生の頃、道端で車に轢かれた猫を見て強い悲しみを覚えました。その体験が現在の活動につながっているそうです。

【彼の所属団体と活動について】

現在、「Tier Pflanze(ティア プランツェ)」という団体で、動物愛護、環境保全を軸としたソーシャルビジネスを行っています。動物愛護をどう仕事に活かしていくかを議論したり、識者を招いて話を聞いたりしているそうです。

また、去年の夏には生類憐みの令で有名な徳川綱吉をモチーフとした、「逆通勤交代」なるものを行っています。動物愛護をユニークな形で発信するために、甚兵衛姿でのぼりと旗を持ち、自転車で長野県にある「動物愛護センター」を訪れ、動物介在療法とアニマルセラピーについて取材をしたそうです。

その外にもイベントやセミナーなどを行っています。動物愛護、環境問題の啓蒙のために様々な手法で発信を続けています。映画を使って学習したり、実際に園木さんが動物保護施設へ足を運び、それについて講演をしたりしています。

【伝えたいメッセージ】

あらゆる生物には生を楽しむ権利があります。人間だけでなく、あらゆる生物が上手く共存できる世界を作っていきたいと思っています。

わたしが発見しました!

確固たる信念を持って行動する園木さんの姿に刺激を受けました。僕も自分のやりたいことをしっかりやろうと思いました。

遠藤瑞稀(言3年)

Vol. 72

今回は、大学の春休みを利用して、バックパック1つでアフリカ大陸縦断を成し遂げた坂巻海星さん(律3年)にお話を伺いました。

坂巻 海星さん (律3年)

【旅のきっかけ】

坂巻さんがアフリカ大陸を縦断をすることになったきっかけは2年生の夏。東ラオスを旅していた際にたまたま出会った日本人大学生の「一緒にアフリカ行かない?」の一言でした。思い立ったが吉日ならぬ、誘われたが吉日。坂巻さんは帰国してから必死に働いて貯めたお金とバックパックを携え、今年2月にアフリカ大陸縦断の旅(エジプト→南アフリカ)へと出発しました。

【いざ、アフリカへ!】

約40日間の滞在で訪れた国は8カ国。目にするもの全てが新鮮で、毎日が刺激的だったと語ってくれた坂巻さんですが、出発前はアフリカに対して少しネガティブな印象を持っていたそう。しかし、現地の人々の優しさやフレンドリーさにたくさん助けられ、実際に自分の足で訪れ、肌で感じることの大切さを身をもって体感したとのことでした。

わたしが発見しました!

出会って間もない人に「一緒にアフリカに行こう」と誘われる坂巻さんの人としての魅力や、ポジティブな行動力にキラリと光るものを感じました。「まだまだ行きたい国がたくさんある」と語る坂巻さんに今後も注目です。 若林実理乃(律4年)

【これからの坂巻さん】

子供が大好きだという坂巻さんは、現地の小中学校での日本語を教えるボランティアにも参加しました。子供たちと積極的にふれあうなかで考えさせられることも多かったそうで、今後も教育について考えていきたいと話してくれました。